



## < 血液・腫瘍内科 >

### 概要

平成9年4月開設。専門医一人からスタートし年々スタッフを充実。平成13年10月には病棟（西9階病棟）、外来（第6診）とも独立し、平成16年10月より専門医4名体制となる。簡易無菌室も7床となり、血液腫瘍患者に対する通常の化学療法のみでなく、自己末梢血幹細胞移植を常時実施。常に50名前後の患者が入院中である。平成19年からは血液内科を血液・腫瘍内科と名称変更を行った。

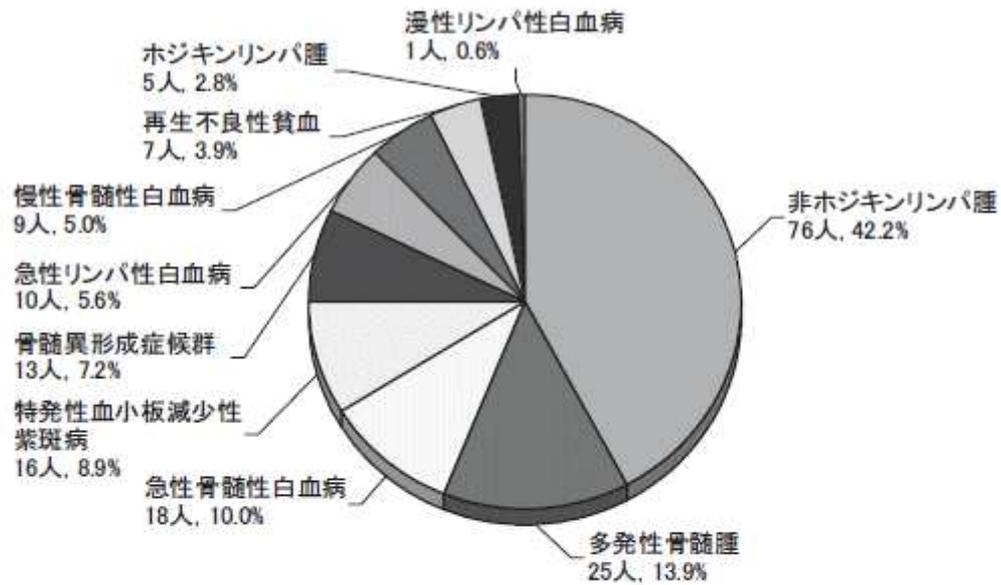
東三河（診療圏内の人口約70万人）で唯一の血液内科であるため、院内で診断された血液疾患患者のみでなく、市内、新城、豊川、蒲郡、渥美等の総合病院あるいは診療所からの紹介を受けている。

症例数は多彩で偏りなく、かつ豊富であるため、あらゆる血液疾患の診療に当たる必要がある。患者さんの半数は悪性リンパ腫であるが、多発性骨髄腫、急性リンパ性白血病の診療においては全国的レベルでも豊富な経験で知られている。

今後の課題は同種骨髄移植を当院で実施できる体制を確立することである。現在ある準無菌室で実施できる範囲で移植を開始している。また、医療スタッフの安定的確保も不可欠である。平成21年度からはスタッフ4名が診療に当たりながら、内科専攻医と研修医の研修指導に力を注いでいる。2011年4月から当院研修医から二人目の血液内科専攻医が固定研修を始めた。

がん拠点病院の指定を受ける中で、悪性腫瘍に対する薬物療法の基本的知識と経験を研修する役割についても徐々に貢献していく。

主な疾患の新規患者 180人



主な疾患の新規患者 (人)

疾患名	略称	患者数
非ホジキンリンパ腫	NHL	76
多発性骨髄腫	MM	25
急性骨髄性白血病	AML	18
特発性血小板減少性紫斑病	ITP	16
骨髄異形成症候群	MDS	13
急性リンパ性白血病	ALL	10
慢性骨髄性白血病	CML	9
再生不良性貧血	AA	7
ホジキンリンパ腫	HL	5
慢性リンパ性白血病	CLL	1
計		180

## 業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

## 学会・研究会発表

1. 当院における大量化学療法を施行したハイリスク多発性骨髄腫の長期予後について  
岩崎年宏、鈴木弘太郎、倉橋信悟、杉本 匠、杉浦 勇  
第9回日本臨床腫瘍学会学術集会(横浜)2011.7.22
2. Phase II trial of C-VAD therapy followed by ASCT for newly diagnosed patients with MM: C-SHOT0401  
Tomohiro Kinosita, Isamu Sugiura, Hirofumi Tajī, Masafumi Sawa, Kumio Kitamura, Hirokazu Nagai, Sinsuke Iida, Hiroshi Kosugi, Kouichi Miyamura, Hidetusugu Mihara, Hiroshi Sao, Masanobu Kasai, Yoshiko Atsuta, Ritsuro Suzuki, Kazuyuki Shimizu, Yoshihisa Mor  
第 73 回日本血液学会学術集会(名古屋)2011.10.16
3. minor bcr-abl 陽性慢性骨髄性白血病の一例  
岩崎年宏  
第 20 回三河血液疾患診療 NW(知立)2011.1.14
4. International Staging System and Metaphase Cytogenetic Abnormalities in the Era of Gene Expression Profiling Data in Multiple Myeloma Treated With Total Therapy 2 and 3 Protocols  
寺部里美  
第4回名古屋骨髄腫WG(名古屋)2011.4.20
5. 自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法後に透析離脱に至った BIP型多発性骨髄腫の1例  
鈴木弘太郎、寺部里美、杉本匠、岩崎年宏、杉浦 勇  
第2回東海骨髄腫フォーラム(名古屋)2011.5.13

6. 再燃時にT315I変異をきたした慢性骨髄性白血病急性転化の一例  
杉本 匠、寺部里美、鈴木弘太郎、岩崎年宏、杉浦 勇  
第 21 回三河血液疾患診療NW(知立)2011.6.10
7. 治療効果判定のポイント  
杉浦 勇  
第3回東海骨髄腫フォーラム(名古屋)2011.11.16
8. 慢性骨髄性白血病:当院におけるニロチニブの使用経験  
杉本 匠、寺部里美、鈴木弘太郎、岩崎年宏、杉浦 勇  
第8回東海 CML セミナー(名古屋)2011.11.18
9. 当院での Ph+ALL 治療における Dasatinib の使用経験  
寺部里美  
Ph+ALL セミナー(名古屋)2012.2.1
10. Personalized therapy in multiple myeloma according to patient age and vulnerability: a report of the European Myeloma Network (EMN)  
寺部里美  
第6回名古屋骨髄腫WG(名古屋)2012.2.15

## 座長

1. 臨床試験のデザインとデータ解析 臨床家と統計家のコラボレーション  
杉浦 勇  
第 14 回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.7.27
2. Myeloma の診断について  
杉浦 勇  
第5回NMWG(名古屋)2011.8.10
3. 移植後早期の感染症ガイドラインの改定と最新の情報  
杉浦 勇  
名古屋BMTグループ 2011 年度年次総会学術講演会(名古屋)2011.9.2
4. 臨床統計学  
杉浦 勇  
東海白血病セミナー(名古屋)2011.9.9

5. 悪性リンパ腫の染色体異常  
杉浦 勇  
第 22 回三河血液疾患診療ネットワーク(安城)2011.10.28
6. New Era of Multiple Myeloma Treatment  
杉浦 勇  
NMWG 講演会(名古屋)2011.11.9

## 講演

1. フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな取り組み(その1)  
杉浦 勇  
座談会「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する新たな治療戦略」  
(東京)2012.2.4
2. 多発性骨髄腫とその治療の進歩  
杉浦 勇  
第 30 回 MCR フォーラム(豊橋)2012.11.2

## 論文

1. BCR-ABL1 mutations in patients with imatinibresistant Philadelphia chromosome-positive leukemia by use of the PCR-Invader assay.  
Ono T. Miyawaki S. Kimura F. Kanamori H. Ohtake S. Kitamura K. Fujita H. Sugiura I. Usuki K. Emi N. Tamaki S. Aoyama Y. Kaya H. Naoe T. Tadokoro K. Yamaguchi T. Ohno R. Ohnishi K.  
Leuk Res, 35:598-603 2011
2. Retrospective analysis of primary gastric diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era: a multicenter study of 95 patients in Japan  
Tanaka, T. Shimada, K. Yamamoto, K. Hirooka, Y. Niwa, Y. Sugiura, I. Kitamura, K. Kosugi, H. Kinoshita, T. Goto, H. Nakamura, S.  
Ann Hematol, 91:383-90 2012

